

第26回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成25年12月

応募者名：山口県

事業の名称：宇部都市計画道路

宇部湾岸線街路整備事業

実施都市名：山口県

事業目的

都市計画道路宇部湾岸線は、地域高規格道路山口宇部小野田連絡道路の主要区間であり、宇部市中心部から、臨海工業地帯を東西に通過し、宇部市東須恵の国道190号に至る自動車専用道路です。

本事業により、県下最大の交通量を有する国道190号をはじめとする宇部市厚南地域の交通渋滞の緩和や、IC・港湾・空港等の広域交通拠点へのアクセス性の向上、宇部・小野田地域間の連携強化及び、都市的土地利用の促進を図ります。

事業概要

事業名称：宇部都市計画道路宇部湾岸線街路整備事業

路線名：宇部湾岸線

事業箇所：山口県宇部市中央町～大字東須恵

事業延長：6.0km、街路 2.3km

幅員：9.85m～19.45m、街路 9.5m×2

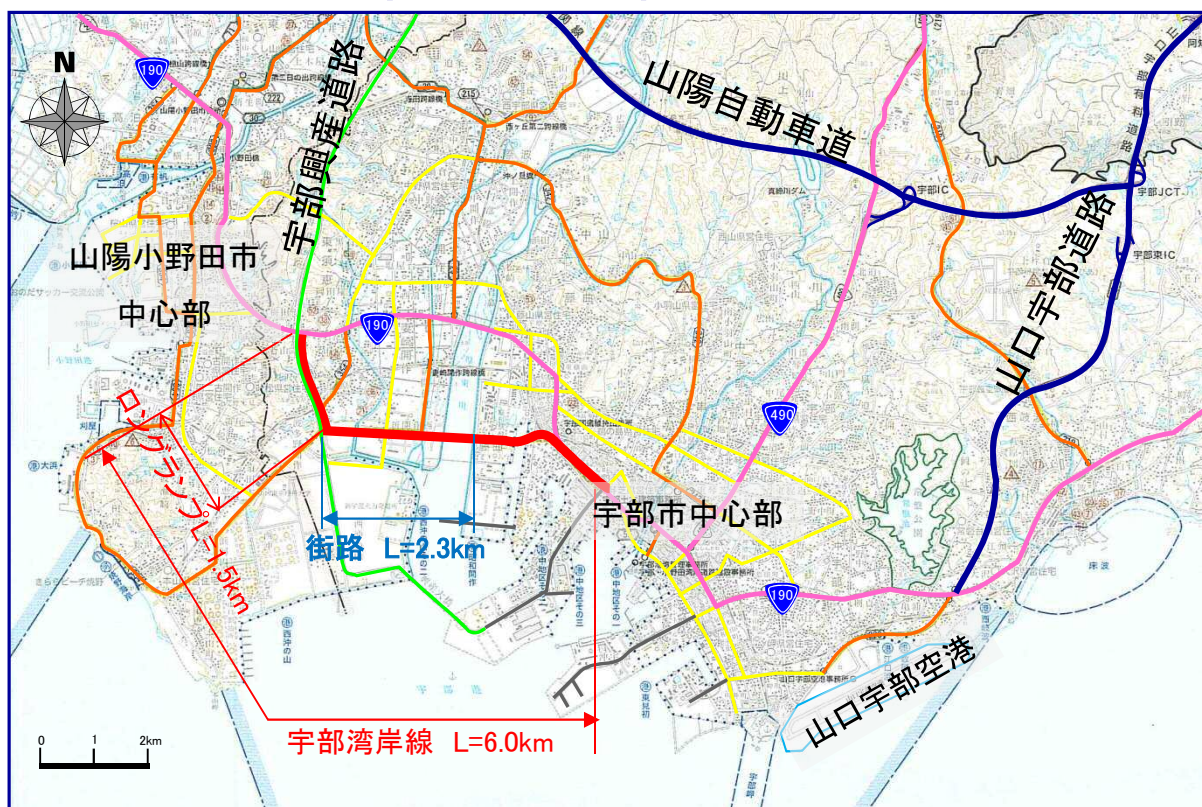
事業費：860億円

事業実施期間：平成6年度～平成24年度

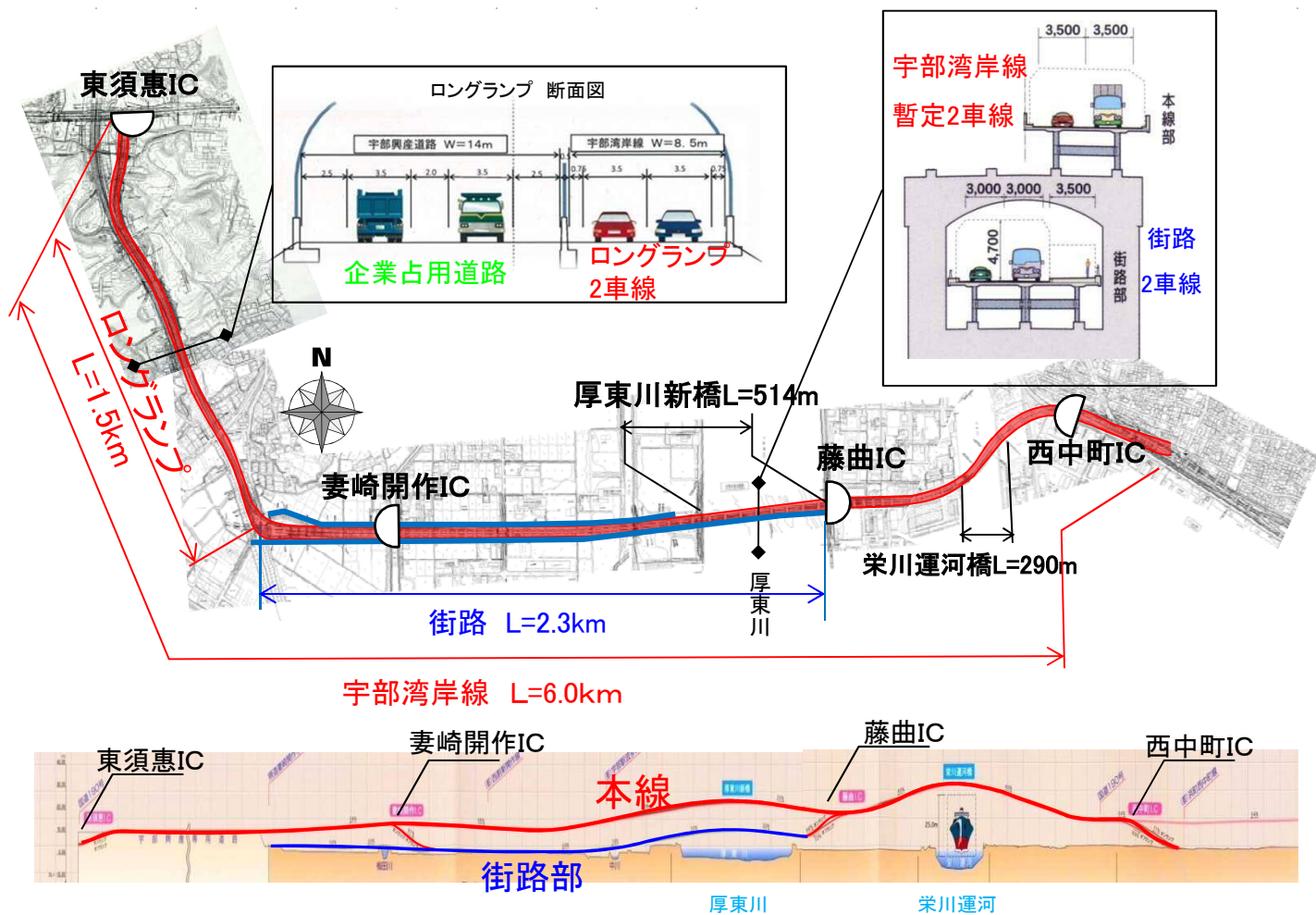
整備区間6kmのうち、3.8kmは連続高架構造で、栄川運河橋（280m,3径間連続複合斜張橋）や厚東川新橋（514m,9径間連続非合成板桁橋）等を整備し、1.5kmの東須恵ICロングランプは、企業専用道路の一部を活用することで、コスト縮減や事業効果の早期発現を図りました。

また、本線へのアクセスや沿道土地利用の観点から、本線に並行する2.3kmの街路整備を行いました。

事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)



宇部湾岸線の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 宇部湾岸線街路整備事業
事業箇所: 宇部市中心部～大字東須恵
事業延長: 6.0km
幅員: 9.85m～19.45m
総事業費: 860億円
事業期間: H6～H24年度

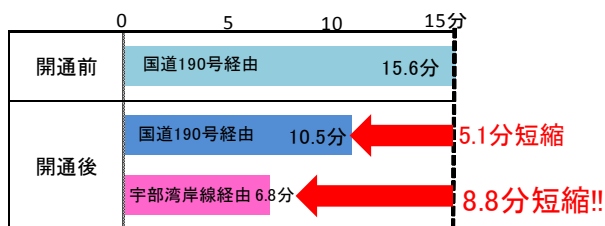
○開通後の利用状況

調査日: 平成25年10月17日
交通量: 厚東川新橋 18,600台/日
高架部 8,500台/日
街路部 10,100台/日
: 厚東川大橋 64,300台/日

【整備効果】

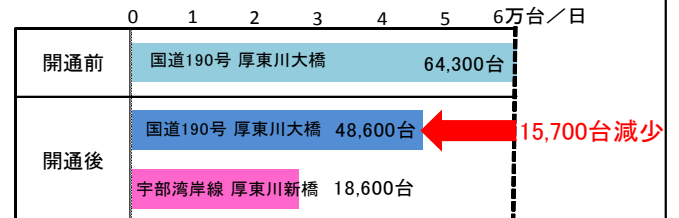
○移動時間の短縮

西中町IC～東須恵IC間の混雑時の移動時間が約6割(8.8分)減少しました。



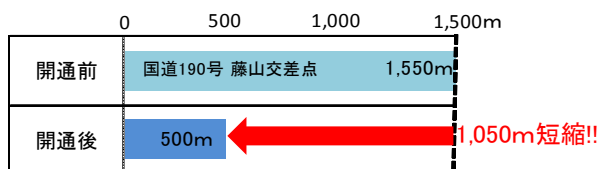
○国道190号の交通量の減少

県下で最も交通量の多い、国道190号厚東川大橋の1日あたり交通量が約2割(15,700台)減少しました。



○渋滞長の減少

主要渋滞箇所である国道190号藤山交差点の山陽小野田市側の渋滞長が約7割(1,050m)減少しました。

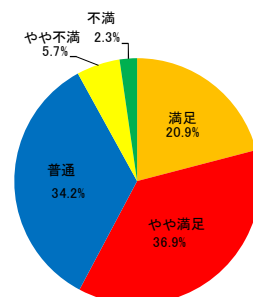


○住民アンケート

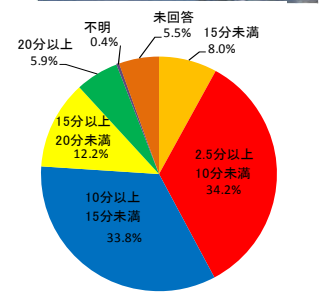
・宇部市、山陽小野田市の住民アンケート結果により、宇部湾岸線の満足度が高いことが分かりました。
・なお、整備後の移動時間の短縮は、5分～15分が全体の約7割を占める結果となりました。

○湾岸エリアのランドマーク

宇部湾岸線の愛称を募集し、「宇部スカイロード」に決まりました。栄川運河橋は、特徴ある形状から、湾岸エリアのランドマークとなっています。



Q: 宇部湾岸線の満足度は?



Q: 宇部湾岸線整備後では移動時間が何分短縮しましたか?

事業前写真

国道190号藤山交差点の渋滞状況
(平成19年7月)



国道190号西割付近の渋滞状況
(平成19年7月)



栄川運河橋施工状況(平成20年1月)



栄川運河橋施工状況(平成20年1月)



厚東川新橋施工状況(平成18年9月)



厚東川新橋施工状況(平成18年9月)



事業後写真

西中町IC～藤曲IC間(平成24年1月)



栄川運河橋(平成24年7月)



(平成24年7月)



(平成23年8月)



厚東川新橋(平成23年8月)

